

リニア駅周辺整備 民間事業者との意見交換会 結果概要

1. 開催概要

開催目的 : リニア駅周辺に整備を予定している魅力発信施設等を対象として、当該施設等への事業参画に興味がある民間事業者を広く公募し、民間事業者からのアイデア提案や、今後の施設整備や管理運営方法等に関する意見交換を行うことを目的に開催した。なお、平成30年11月に開催した意見交換会に参加していない新規の事業者を対象に実施している。

開催日 : 平成31年3月28日(木)

参加者数 : 5事業者が参加(飲食、エネルギー、建物サービス、施設管理等に係る事業を行う市内外の民間事業者)

2. 民間事業者からの発表概要

- ・今回、民間事業者から提案を頂いた内容としては、南信州や飯田ならではの食の提供、交流人口の拡大、自然エネルギーの活用、整備区域内の維持管理、災害時の対応等に関する内容であった。
- ・平成30年11月に開催した意見交換会における課題共有をしたなかで、魅力発信施設の整備主体については、基本的にはテナントとして事業運営を行う事業が多い傾向であり、その事業展開の希望場所についても、高架下からエリア全体までと幅広いニーズであった。
- ・また、魅力発信施設の整備にあたっての各事業者の関わり方や駅前広場空間内における事業展開の場所、事業を行う上でのリスクについての意見交換を実施し、結果として、立地条件と収益性に関する課題や同業種が立地した場合の利益相反等に関する意見が挙げられた。
- ・今後、今回参加頂いた事業者について個別ヒアリングを実施することを確認するとともに、次年度(平成31年度)に、官民連携のプラットフォームを立ち上げ、そのなかで、更に議論を深めていく旨を共有した。

3. 全体討議での意見

①魅力発信施設に関する意見	②事業リスクに関する意見
<ul style="list-style-type: none"> ・外からの来客の方に、長野県、南信州、飯田を知ってもらう、行きたくなる地域を紹介するスペースや、夜間も常駐できるスペースが必要 ・南信州ならではの、地域資源を活用した飲食等の情報発信が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力発信施設にテナントとして事業参画する場合でも、駅の集客力、土地賃料によるリスクを想定することが必要 ・事業参画にあたって、無担保であれば良いが、金融機関からの融資条件の考慮が必要 ・事業参画した場合、同じ業態が立地するなど、利益相反への調整が必要

(当日の様子)

